



日本の国立公園と世界遺産を活かした地域活性化推進費のうち 国立公園等における子どもの自然体験活動推進事業

令和2年度予算 7百万円

イメージ

まち・ひと・しごと創生総合戦略

文部科学省

農林水産省

総務省

環境省



- 国立公園をフィールドとした自然体験活動の推進、**受入・実施体制の検討・構築**
- 受入地域の住民や、協力して事業を進める自然学校等民間事業者と連携し、**体制強化や人材育成、自然体験プログラム作成**

【取組例】

大雪山国立公園:豊かな自然が農業を支えていることを体感できるプログラムの作成、モデルツアーの実施。

雲仙天草国立公園:農業が盛んな地域において複数の学校と連携したプログラムを開発、農家等も含めた地域内連携を促進。



- ・国立公園等における子どもの自然体験活動の推進体制の強化及び受入体制の強化

【問合せ先】

環境省自然環境局国立公園課国立公園利用推進室 03-5521-8271

事業目的・概要等

背景・目的

- ・人々の生活が便利になる一方、人と自然や社会とのつながりを実感することが難しい近年の状況。
- ・自然豊かな農山漁村に滞在することを通じ、自然の大切さや自然との付き合い方を学び、豊かな人間性が形成されることを目的に「青少年自然体験活動等の推進に関する法律（案）」の制定に向けた動きがある。

事業概要

- ・子ども滞在型農山漁村体験教育の推進体制および受入体制の強化を図るために、受入側となる農山漁村地域における効果的な推進体制の検討を行う。
- ・受入地域の住民や、協力して事業を進める自然学校等民間事業者向けに、体制強化や人材育成、自然体験プログラム作成などの研修を行う。

事業スキーム

環境省

[施策の検討]

請負発注

結果報告

請負事業者

[各種事業の実施]

受入地域の
住民

自然学校等
民間事業者
等

期待される効果

- 自然環境や国立公園への理解や訪問意識の高まり、利用者の増加
- 子ども自然体験活動の受入に伴う交流人口の増加、地域活性化
- 子どもの生きる力、豊かな人間性の形成